

| <p>①感性や想像力を働かせる姿</p> | <p>②造形的な視点で捉える姿</p> | <p>③意味や価値をつくりだす姿</p> |
|----------------------|---------------------|----------------------|
|                      |                     |                      |

造形的な見方・考え方を視点に発表された実践を振り返ります。子どもが造形的な見方・考え方を働かせたときに見せる姿を見付け、その姿が見られたのは、どのような環境設定、教師の働き掛け、手立て等によるものなのか。また、その姿を見せているときに身に付く資質・能力は何かなどについて協議します。

#### 造形的な見方・考え方

感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージを持ちながら（自分としての）意味や価値をつくりだすこと

#### 造形的な視点

- 1、2年… いろいろな形や色 触った感じ  
(例：四角、丸といった形状、大きさ等)
- 3、4年… 形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさ  
(例：形の柔らかさ、色の冷たさ、色の組合せによる優しい感じ等)
- 5、6年… 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさ  
(例：形そのものがもつ方向感、表面の材質感の違い、色の鮮やかさ、時間的な変化の動き、大きなものの量感や奥行きの感じ等)
- 中学校 … 色彩の色味や明るさ鮮やかさ、材料の性質や質感、形や色彩、材料、光などから感じる優しさや楽しさ、寂しさ、形や色彩などの組合せによる構成の美しさ、余白や空間の効果、立体感や遠近感、量感や動勢 等

#### 協議について

- グループ内にいる発表者の実践を協議してください
- グループ内で協議の結果を発表する方を決めてください。
- 2分以内で発表できるようにまとめてください。
- 協議時間は15分程度です。